



加東市

議会だより

8月臨時会・9月定例会



メモリアルガーデン

庁舎からの絶景

庁舎から望むメモリアルガーデン及び周辺の地域(75ha)は平成元年3月28日兵庫県条例に基づき、景観形成指定地域に指定され街並みが美しく整っている。またメモリアルガーデンは旧社町時代に町のシンボルとして建設され、近隣市町には見かけることのない素晴らしい景観を見せている。バラ園も開設され市民に愛される憩いの場となっている。

● 8月臨時会・9月定例会	2
● 決算特別委員会報告	5
● 公共施設適正化検討特別委員会報告	9
● 総務文教常任委員会報告	10
● 産業厚生常任委員会報告	11
● 政務調査報告	12
● 一般質問	13
● 加東のええとこ～歴史探訪	16

公共施設の適正化に関する計画を議決!

第61回加東市議会臨時会が8月17日、1日の会期で、そして第62回定例会は9月2日から9月29日まで28日間の会期で開会した。市長からは加東市公共施設の適正化に関する計画をはじめ、35の議案が上程され、いずれも慎重審議の結果、原案のとおり可決した。また18日には一般質問が行われ、8名の議員が市当局の考えをただした。

公共施設の適正化に関する計画

公共施設適正配置の基本方針

- 針
- (一) 地域バランス重視からの転換
 - (二) 複合化・多機能化による施設総量の抑制
 - (三) サービス内容の充実と適正な受益者負担
 - (四) 民間活力の活用
 - (五) 転用施設の有効活用
 - (六) 安全・安心の視点による施設整備
 - (七) 公共交通サービスの充実

加東市民病院

耐震化を含め計画的に改修する。

学校施設

東条地域では東条文化会館周辺に小中一貫校を整備する。当面は現在の東条中学校を適切に維持管理し継続使用する。社・滝野地域においても順次小中一貫校を整備する。

生涯学習施設（文化、学習施設）

やしろ国際学習塾を市の主たる文化会館とする。また、東条文化会館「コスミックホール」は、当面NPO法人等に管理、運営を委託し、一定期間経過後に評価・検証を行い、その後の運営方針を決定する。

図書館については、やしろ国際学習塾の図書・情報センターは廃止し、リハールサル室等に転用する。

東条公民館は耐震基準を満たしていないため、とどろき荘2階に移設する。なお、とどろき荘の宿泊業務は廃止する。

生涯学習施設（社会体育施設）

小中一貫校開校時に、東条第1・第2体育館は、廃止する。その代用として現小学校の体育館を活用する。

社第1グラウンドは福田小学校施設の有効活用を前提とし廃止する。

東条グラウンドは借地を

解消した上で存続。併設のテニスコートは利用状況が少ないため、廃止する。

保健福祉施設

平成31年度に山国地内に幼児連携型認定こども園を新設する。

その後、社・三草保育園は転用あるいは譲渡する。また、米田保育園、鴨川保育園は小中一貫校開設後、用途廃止とする。

「東条鯉こいランド」は、南山地区に新設する「南山活性化支援施設（仮）」内に移設する。

福祉センター等

滝野福祉センター「はびねす滝野」、東条デイサービスセンターは、社会福祉協議会に貸し付け、事業を行う。

東条福祉センター「とどろき荘」は、温泉施設を縮小し運営するが、収支の改善が見込まれないときは廃止する。

市営住宅

小元団地は建て替えが決定しており、平安団地、岩の花団地、藪団地については一部を取り壊し、駐車場の整備を行う。また、光明寺団地、春日団地、下滝野団地、森尾団地は廃止し、その他の存続する団地は平成28年度から順次修繕を行う。

【問】施設ごとではなく、一括の議案で上程した理由は、

【答】施設それぞれに関連性があるからである。

【問】病院の改築が盛り込まれているが、経営の立て直しが前提だと考えるが、

【答】当然経営が成り立つことは前提である。

公共施設適正化検討特別委員会に付託→P9参照



東条文化会館「コスミックホール」

反対討論

公共施設のあり方は個々の施設ごとに判断すべきで、このように一括した議案はなじまない。とどろき荘も縮小すれば入場者の減は目に見えており、リニューアルをして市民に歓迎される施設にすべき。

全体として理解できるが、コスミックホール周辺を東条地域小中一貫校の適地とすることは理解できないため反対。

賛成討論

全ての公共施設を維持できている財政状況の中でこの計画を策定することは、逆に難しい面もあったが、将来に向けて避けて通れない道である。

コスミックホールの存続、小中一貫校を丁寧に進める事等、3月の案に比べて当局の案も配慮されたものになっており賛成する。

未来の子どものために、小中一貫教育を是非とも推進すべき。

賛成多数で可決



山がおりてこない政策を

天神東埼玉鹿谷区画整理事業助成へ

一般会計補正予算(第4号)

【問】税の賦課徴収費が、550万円と大きく補正された内容は。

【答】法人市民税の還付のためである。

【問】中学校の対外試合等参加補助金は要綱に基づくものか。

【答】平成24年の学習指導要領改正により部活動が教育活動の一環として位置づけられ、出場時に補助金を支給できるように要綱を制定していた。参加選手の実費分(旅費、宿泊費、バス借り上げ料等)である。

【問】東条福祉センター指定管理料の140万円の増額は何か。

【答】電気料金の値上げに伴うものである。

【問】やしろ鴨川の郷の管理事業で整備、備品購入の内容は。

【答】シロアリの被害の修繕費と、製氷機・大型冷蔵庫の購入費用である。

【問】市民病院に婦人科医師が来られることに対し、補助金・出資金を出す理由は。

【答】病院本体の改修や、医療機器の更新等、国の基準に基づき出している。

【問】どのように改修するのか。

【答】婦人科・小児科が使用している部屋を婦人科専用の部屋に、また、注射室を小児科の診察室に改修する。



加東市民病院

【問】天神東埼玉鹿谷区画整理事業の公園用地費5200万円の補助は、当初からの計画ならば理解もできるが、事業実施後に計画が成り立たないため補助するというのは納得できない。

【答】3%を超える部分をお願いするのは、助成要綱はあるものの、非常にづらい部分である。

地価の下落、工事費の高騰という状況下、この事業を成功させるため、現行の要綱に基づき助成することをお願いしたい。



天神東埼玉鹿谷区画整理

反対討論

天神東埼玉鹿谷区画整理事業において、状況の変化があったとは言え、基本的には組合が責任を了解して着手したものである。後になつて地価が下落したから助成で対応するというのなら、過去に行った他の区画整理事業や、リスクを考え事業を断念された方に対して説明がつかない。

(藤尾)

賛成討論

病院事業においてドクターを確保したということ、これに対する補正予算が計上されている。

天神東・埼玉鹿谷区画整理事業については、まちづくりを地元で実施していただくのが大前提であり、販売促進も地元で力を入れていただく、補助金が有効に活用できるよう期待する。

賛成多数で可決
(小川)

平成27年度 各会計補正予算

(単位：千円)

会 計 種 別		補正額	補正後の額	主 な 内 容	
一般会計(第4号)		234,144	19,327,791	情報システム構築業務委託料27,600千円 土地区画整理事業助成52,000千円	
特別 会計	国民健康保険特別会計(1号)	△29,423	4,577,181	後期高齢者支援金事業支援金△35,520千円 介護納付金事業納付金△28,950千円	
	後期高齢者医療特別会計(1号)	11,086	416,638	前年度繰越金10,286千円	
	介護保険保険事業特別会計(2号)	40,246	3,347,525	前年度繰越金32,467千円	
	介護保険サービス事業特別会計(1号)	9,534	389,768	訪問介護費収入2,216千円 介護老人保健施設費収入5,457千円	
企 業 会 計	水道事業 (1号)	収益的支出	6,779	1,348,805	アルバイト賃金1,800千円 弁護士業務委託料3,000千円
		資本的支出	15,164	656,318	岩屋配水池送配水管用地測量等委託料2,295千円 岩屋配水池流量計更新工事等12,420千円
	下水道事業(1号)	収益的支出	4,458	2,145,284	一般職給料1,069千円 一般職手当1,157千円
		資本的収入	△2,420	1,046,272	下水道事業債45,900千円 国庫補助金△48,320千円
		資本的支出	114	1,635,310	一般職給料△218千円 一般職手当332千円
	病院事業(1号)	収益的収入	△7,613	2,076,128	在職医師の休暇等による減△10,492千円 一般会計補助金2,879千円
		収益的支出	△12,707	2,176,034	婦人科応援の終了△6,487千円 委託料実績による減△15,654千円
		資本的収入	14,728	233,545	産婦人科用医療機器更新に係る出資金10,789千円 業務用ボイラー更新の企業債3,000千円
資本的支出		13,950	262,038	産婦人科医療機器購入費10,790千円	

定住自立圏構想で 3市1町連携へ!!

一般会計補正予算(第5号)

【問】指定管理者の指定にかかわる委員はどのような方を想定しているのか。

【答】兵庫教育大学大学院の准教授や、文化連盟の関係者等である。

【問】地域版総合戦略策定検討会について、先行分の取り組みをしなかったと新聞記事があったが、あまりにも取り組みが遅いのでは。

【答】当初はご当地カードで対応することを検討していたが、断念したことが影響している。

【問】市では、審議会等の委員に兼任数の規定を設けていたはずだが、今回のようなになっているのか。

【答】兼任は原則5委員会までとしているが、最高で8つの委員を兼任されている方がおられる。

【問】災害復旧で、東条地域が多いが、事前に点検できないのか。

【答】危険地域の指定は可能だが、すべて点検して防ぐのは困難である。

全会一致で可決



マイナンバー(用心・用心)

個人情報保護条例の一部改正

マイナンバー制度の実施に当たり、特定個人情報の保護措置等の措置を講じる規定を設けた。

税条例の一部改正

マイナンバー制度の実施に当たり、税務書類に個人番号を記載しなければならぬ規定を設けた。

加東市入湯税条例

地方税法上、必要な入湯税条例の定めがないため今回制定。規則で入湯料金千円(消費税及び地方消費税を除く。)以下は課税免除とした。現在、課税対象となる施設はない。

【問】入湯料金を課税免除の要件とすることで、特定の施設が不利益を被ることにならないか。

【答】入湯税は、観光の振興等を目的とするものであり、観光振興に影響のないよう慎重に対応する。

手数料条例の一部改正

マイナンバー制度の実施に当たり、個人番号カード・個人番号通知カードを再交

付する場合の手数料をそれぞれ800円・500円と定めた。

【問】国の都合でマイナンバー制度を行うのに、再交付で手数料を取るのはいかしくないではないか。

【答】国の制度で、再交付の手数料も均一に定められている。地方公共団体情報システム機構がカードの再交付を行う手続きに使用する。

定住自立圏の形成に関する協定の締結

定住自立圏構想推進のため、加西市及び加東市と西脇市、また、加西市及び加東市と多可町との間に定住自立圏形成協定を締結するもの。医療、公共交通、文化等の分野で連携を行っていく。

全会一致で可決



定住自立圏協定

第62回定例会・第61回臨時会 議決結果一覧

(賛否の分かれたもの)

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 棄…退席し棄権

議案番号	議案	大畑一千代	藤浦巧	高瀬俊介	長谷川幹雄	石井雅彦	岸本眞知子	小川忠市	小紫泰良	磯貝邦夫	藤尾潔	安田朗	長谷川勝己	桑村繁則	山本通廣	二階一夫	井上茂和	議決結果
第57号議案	議会の議決すべき事件に関する条例	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決(賛13反1)
第58号議案	平成27年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	○	×	○	○	原案可決(賛12反3)
認定第8号	平成26年度病院事業決算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	○	○	○	○	認定(賛13反2)
第76号議案	公共施設の適正化に関する計画	棄	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	○	原案可決(賛12反2)
請願27-4号	「ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度の創設と身体障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準の緩和を求める意見書」の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	採択(賛13反2)
意見書第2号	ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度の創設と身体障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準の緩和を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	決定(賛13反2)

※その他の議案は全会一致で可決

堅実な財政運営

一般会計8億1千万円の黒字

歳入歳出決算会計別一覧

※1万円以下は四捨五入

会 計	歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計	185億0,458万円	176億7,871万円
特 別 会 計		
国民健康保険特別会計	38億9,054万円	37億7,113万円
後期高齢者医療特別会計	3億9,059万円	3億8,031万円
介護保険保険事業特別会計	32億4,091万円	31億7,444万円
介護保険サービス事業特別会計	4億2,911万円	4億2,863万円
小 計	79億5,115万円	77億5,451万円
企 業 会 計		
病院事業会計	19億5,589万円	21億7,304万円
水道事業会計	14億0,163万円	13億9,144万円
下水道事業会計	19億1,459万円	19億9,625万円
小 計	52億7,211万円	55億6,073万円
合 計	317億2,784万円	309億9,395万円

※企業会計は、収益的収入および支出額（消費税抜き）を計上しています。

平成26年度各会計決算については、議長・監査委員を除く14名の委員で構成する決算特別委員会（石井雅彦委員長）において審査を行った。病院事業会計については賛成多数で、他の会計については全会一致で承認された。

協働部

【問】防犯カメラ設置の効果について。

【答】警察の捜査のためデータを提出し、犯人逮捕に結びついた例もある。

【問】バスロケーション（位置情報）システムについて補助金を出しているが、現在機能しているのか。

【答】平成26年度に姫路駅を発着する路線、平成27年度に近隣では西脇・社営業所関連の路線が対象となり、位置情報が把握できるようになる。

【問】米田ふれあい線、きよみず線の利用状況について。

【答】地域でも周知していたが、利用は伸びている。きよみず線については今年度増便を行う。

【問】他地域への展開については考えられているのか。

【答】今年度、地域公共交通網形成計画を策定することとしており、地域の公共交通全体を見直す中で検討していく。

【問】各地域のまちづくり協議会において、活動をしていただくと同時に協議会単位のまちづくりを支援する目的もあるはず。従来の地

区の行事に使ったり各地区に分配するような手法は、本来の趣旨からずれている。

【答】今年度からそのような使い方も認めたが、一方で地域単位の活動には増額する等の措置を講じている。

【問】このとり事業により、結婚に至った事例はあるのか。

【答】6組が結婚され、うち4組が市内に在住されている。



男女交流パーティーチラシ

【問】コミュニティ施設整備事業で桜の名所の整備を行っているが。

【答】南山の桜の名所として整備した土地の排水性が悪い等の事由もあり、樹勢回復を行った。

上下水道部

【問】不明水対策とは。

【答】降水量が一時的に増えた時、下水道に処理能力を越える雨水が流入すると溢れる。昨年、小野市泰田の下水処理場に大量の雨水が流入したこともあり、広域下水道で接続している市町は対策を求められている。

【問】水道メーターは大量の在庫を抱える必要があるのか。

【答】毎年、翌年に交換する検定期間有効満了個数の見通しを立てて発注している。メーターを交換する際、取り替えた古いメーターも在庫として保管している。



南山さくらの名所

児童虐待防止のため MY TREEペアレンツ事業に取り組む

加東市民病院

【問】50%程度が適当とされている人件費比率が96%というのは、経営として成り立っていないのでは。

【答】今年度は婦人科の医師も確保できたので、医業収益を上げて、人件費比率低減に努めたい。人件費の削減は、最終手段だと考えている。

【問】一部の科を除き、午後外来診療をしない理由は。

【答】医師会との調整も必要と考えられる。

【問】訪問看護の利用が伸びているが要因は。

【答】看護師を増員し、24時間対応に戻せたため。

【問】訪問看護で、医療保険と介護保険が併用となつて理由とは。

【答】併用となるのは終末期医療の場合で、介護保険のサービス量を超える部分を医療保険で利用している。

【問】人間ドックの数も、医師が対応できないというところで一日7人の制限をつけている。工夫をして増やすことはできないのか。

【答】応援医師の対応も含め検討する。

福祉部

【問】福祉タクシー券の利用率が70%程度であるが。

【答】予算編成時に、多めに見積もっていることも理由の一つである。

【問】生活支援サポーター制度は、十分活用できる状況なのか。

【答】現在、依頼会員より協力会員の方が少ないのが課題で、養成講座なども行い、協力会員の増加を図っている。利活用にあたっては、社会福祉協議会で調整している。

【問】臨時福祉給付金の申請率が約90%の理由は。

【答】住所移転等による申請書不達、申請意思がない、住民税課税者であった等。

【問】認可外保育園への助成について、保護者の負担等把握しているか。また、どの保育園でも対象になるのか。

【答】通園人数に応じて施設にお支払いしており、保護者が園に支払われている額は把握していない。市内の児童が10名以上通園している等、要綱の基準を満たせば対象となる。

【問】児童館「やしんこども



こどものいえ 親子活動

のいえ」の母親クラブにのみ助成が出ているが、他の児童館にはないのか。

【答】母親クラブは「やしんこどものいえ」でのみ設置しているが、そこを拠点にして3館全体を対象に事業を行っている。

【問】緊急通報システムにおいて、ペンダントを押すことができなかった事例があると聞いているが。

【答】そういった事例はあった。今年度から新たに業者委託でシステムを組みなおすので、そのことも含め検討していきたい。

【問】加東市として子育て支援に力を入れている部分はあるのか。

【答】児童虐待防止対策に重点的に取り組み、MY TREEペアレンツプログラム事業を実施している。この事業は、全国で11か所しか取り組んでいない。

地域創造部

また、障害児等保育事業を実施し、支援が必要な児童が過ごしやすい環境づくりを行っている。

【問】電気柵への助成について、単価があまりにも違っているのはなぜか。

【答】電源の数等が異なるためである。

【問】東条町ハウス貸出返還金の経緯について。

【答】かつて旧東条町で、農協とともにハウスを建設し半額分を利用者に償還していたが制度で、補助金的な意味ももっていた。利用者がいないため清算した。

【問】そのような目的であれば、出資として決算書に書いてあるべき性質のものではないのか。

【答】旧東条町で運用していた制度は補助の内容を含んでおり、制度活用によって原資が減少するしくみで返還の見通しが立たないため、出資的な性質ではない。

【問】企業誘致の数が鈍っているのではないか。

【答】滝野・社の工業団地は完売しており、東条地域も区画数としてはあまり残っていない。また、従業員を



三草登山口トイレ

募集しても人が集まらないことも影響している。

【問】農地の中間管理機構の利用が少ない理由は。

【答】農地の利用権を他の農家に移すことに抵抗のある人が依然として多い。加東市は集落営農が進んでいることも1つの要因と考える。

【問】三草山登山道整備事業でトイレ等を整備したが、効果は上がったか。

【答】年間約1万人の登山者を想定している。加東市の代表的な観光地であり、PRに努めたい。

【問】酒造好適米山田錦の普及拡大事業で284万1千円上がつているが、効果はあったのか。

【答】剣菱酒造に委託してミニのぼりの制作等を行っており、使用された飲食店では日本酒の消費が増えたという報告もある。

道路パトロールで 市道を点検

【問】昨年のタワージャズ・ジャパンの工場閉鎖にとまなう雇用の対策はできたか。

【答】個別に相談を受けた17の事例では就職に結びついている。現在も2件の相談を継続して受けている。

農業委員会

【問】毎年減少してきた耕作放棄地が、今年は3・2ha増加した要因は。

【答】農業委員会が綿密に調査をしたことで、結果として増加した面もある。

【問】新規に把握したものは理解できるが、放棄地となっていたものは解消に向けて動いているのか。

【答】意向調査を毎年行っても、同じことを何度聞くのかと不快に受け止められることもあり、指導に至っていない事例もある。

【問】農家も転作するよう求められながら農地を維持するのは大変である。農家の負担にならないような対応を考えるべきでは。

【答】話し合いの中で良い解決方法を見出していききたい。

まち・農整備部

【問】集落単独の土地改良事業にも補助金が出ているが、

多面的機能支払交付金事業に参加している場合はその範囲で行うように指導される。不公平ではないか。

【答】多面的機能支払交付金では費用の全額を出せるが、市単独では30%であるため、多面的機能支払交付金のほうが有利となっている。

【問】地籍調査で、東条地域で2地区というのは進捗が遅いのではないか。

【答】人材面、予算面からなかなか一気には進められないのが実情である。

【問】市営住宅の使用料で長期滞納の方がおられるが。

【答】過去の滞納分も分納していただくなど、現在は納付いただいている。



道路パトロール

【問】道路パトロールの実態について。

【答】市内を4ブロックに分けて業者が月に一度パトロールをしている。道路の破

損個所の報告などを受け付け、緊急性のあるものは補修などの対応を行っている。

【問】国道・県道についてはどのようにしているのか。

【答】管轄が違うが、発見した不具合については通報し、対応を要請している。

【問】市道赤山河高線の進捗状況について。

【答】今年度物件補償の契約がまとまり、来年度物件の移転を行った後、再来年度に工事に着手する。

市民生活部

【問】家庭ごみの量については県下で一番少ないが、事業系のゴミは20位程度となっている。市外からの通勤者の数値が反映されているのでは。

【答】普及啓発に努めたい。

【問】国民健康保険税の滞納世帯に、資格者証などを交付しているが、子供への対応はどうしているのか。

【答】滞納世帯であっても、18歳以下の子どもには6か月の短期証を交付しており、保険証がないということはない。

【問】子ども医療費の無料化が安易な受診につながっていないか。

【答】小野市加東市医師会の統計では、時間外診療の数も減少傾向にあり、安易な受診にはなっていない。

【問】東条郵便局での住民票等交付の状況について。

【答】平成26年度は752件の利用があった。

【問】子宮頸がんワクチンへの対応は。

【答】副反応などの状況もみられたことから、平成25年6月から国では積極的勧奨を控えるという方針になっており、加東市も同様の対応を行っている。

【問】加東市では子宮頸がんワクチンの副反応報告はあったのか。

【答】加東市ではない。

【問】国民健康保険において、安価なジェネリック医薬品の活用も言われているが、加東市の状況はどうか。

【答】一昨年度24%であった利用率が昨年度は約30%まで上がっている。ジェネリック医薬品を利用した場合の差額通知など、今後も推進していきたい。

ジェネリック医薬品

効き目は同じで価格が安い薬です
ジェネリック医薬品は、新薬（先発医薬品）と同じ主成分で製造されており、効き目も同じです。新薬よりも開発のためのコストが低く抑えられるため、新薬に比べて安いことが多く、経済的負担が軽減されます。



ジェネリック医薬品とは

【問】太陽光パネルの設置で市外業者の利用が多いが今後の方針は。

【答】設置後の補助金申請となるため、市内業者の活用を事前に勧めにくい。設置補助金は、今年度で終了予定である。

教育委員会

【問】社小学校の体育館天井改修工事で、約6500万円と巨額であるにもかかわらず随意契約とした理由は。

【答】天井の照明等非構造部材の耐震化工事中にボルトの欠落等が見つかり、安全性確保のため緊急に実施する必要があるため、施工中の業者が継続して行った。

【問】吹奏楽部が購入している楽器が、非常に高級なグレードではないか。

【答】次年度から近隣市町へも楽器の購入状況を照会し検討したい。

【問】給食費について、収納率は99・9%であるが、未収の方もある。どうなっているか。

【答】ほとんどの場合、残高不足等による引き落とし不能である。長期の未納は3名で、うち1名は現在完納されている。全く納付の意志がない方については、法的措置への移行を検討している。

【問】インクルーシブ教育について、特別支援教育センターの設置とは。

【答】教育部門だけでなく、福祉部門とも連携しワンストップ的に支援していこうとするものである。

【問】いじめについて実情は把握しているか。

【答】学期ごとに児童・生徒にアンケート調査を実施したり、月ごとに学校から報告も受けている。小学校で4件、中学校で3件の事例を把握している。

【問】伝の助マラソンの参加者が減少しているが。

【答】一昨年に会場を播磨中央公園に移した際、市民参加を増やそうと親子参加の部門を増やしたりしたが、参加者が伸び悩んでいるのが実情である。



現在参加者募集中!!
私も走り(歩き)ます。



伝の助マラソン大会 チラシ

総務部

【問】スクールアシスタント、キッズアシスタントの状況について。

【答】発達障害などに対応するため、幼稚園や小学校の低学年を中心に配置している。

【問】不登校対策事業はどのようになっているのか。中一ギャップというものは存在するのか。

【答】小学校で8名、中学校で24名の不登校児童・生徒がいる。適応教室という形で、学校とは別に教員免許保有者に対応してもらっている。中一ギャップの影響がどの程度なのかは特定できない面もある。

【問】適応教室の成果は。

【答】昨年度5名の児童生徒が通級していた。自分の教室でない場合もあるが、3名が学校に登校できるようになった。

【問】市長の公用車が15年を経過し、ドライブレコーダー搭載の対象にもなっていない。市長にはそれなりの車に乗っていただくべきではないか。

【答】今、市長の乗っている車は近隣のものと比べてもかなり古く、環境の問題等もあり更新時期に来ている。その際にはドライブレコーダーは標準で装備する。

【問】部課ごとではなく、集中管理の台数を増やすことにより公用車の効率的な活用につながるのでは。

【答】制度を初めて一年足らずであり、今後のあり方は改めて考えていきたい。

【問】入札の予定価格を事後公表に改めたのか。

【答】工事のうち、予定価格500万円以上を事後公表としている。

【問】タブレット等の活用によるペーパーレス化を推進すべき。

【答】庁内の会議などでは資料の電子化等を行っている。紙としても4万3千枚程度削減できている。

一般会計

賛成討論

公共施設の適正化に取り組んだことを評価する。税の滞納整理などにも取り組んでいる。子育て支援や福祉施策などにも積極的に取り組んだ中での黒字決算であり、高く評価できる。

(大畑)

病院会計

反対討論

当初予算での1億5千万円の補填に加え、3月に3億5千万円の補填を行った時にも私は反対した。人件費比率が96%というのは、経営として全く成り立っていない。公共施設の適正化で、数千万円の節約を議論していることとのバランスが無さすぎる。

(藤尾)

賛成討論

医師の長期休養等もあり、やむを得ない部分もあった。加東市民病院は市の基幹病院でありセーフティネットにもなっている。経営に関しては市長の断固たる思いを出す時期に来ていると考えるが、この認定については賛成する。

(小川)

議会日誌

《主なもの》

7月

- 1日 議会広報委員会
- 6日 北播衛生事務組合議会臨時会
- 13日 三木市議会来庁行政視察
- 14日 東播・淡路市議会議長会定例会
- 17日 議会広報委員会
- 21日 産業厚生常任委員会
- 21日 全員協議会
- 21日 総務文教常任委員会
- 23日 議会広報委員会
- 24日 兵庫県市議会議長会総会
- 28日 西脇市議会来庁行政視察
- 30日 北はりま消防組合議会臨時会

8月

- 5日 朝来市議会来庁行政視察
- 6日 産業厚生常任委員会
- 10日 全員協議会
- 10日 総務文教常任委員会
- 12日 議会運営委員会
- 17日 第61回臨時会
- 20日 政務調査
- 21日 (愛知県豊田市・滋賀県彦根市)
- 25日 小野加東広域事務組合議会定例会
- 26日 公共施設適正化検討特別委員会
- 27日 議会運営委員会
- 27日 全員協議会(議案説明会)
- 27日 議会広報委員会

9月

- 2日 第62回定例会(1日目)
- 3日 総務文教常任委員会
- 4日 産業厚生常任委員会
- 7日 議会運営委員会
- 7日 第62回定例会(2日目)
- 7日 議会報告会実行委員会
- 7日 産業厚生常任委員会
- 8日 決算特別委員会
- 8日 議会広報委員会
- 9日 決算特別委員会
- 10日 決算特別委員会
- 10日 全員協議会
- 11日 公共施設適正化検討特別委員会
- 18日 第62回定例会(3日目)
- 18日 議会報告会実行委員会
- 24日 小野加東広域環境施設事務組合議会定例会
- 25日 議会広報委員会
- 29日 第62回定例会(4日目)
- 29日 全員協議会
- 29日 議会運営委員会



10ヶ月、11回の調査を経て 方向性を見いだす！

公共施設適正化検討特別委員会

所管事務調査

8月26日、小中一貫教育の検討状況について報告を受けた。

校ではなく法の枠内で対応を考えている。

付託議案審査

公共施設の適正化に関する計画

(↓内容はP2)

9月11日、付託された計画案についての審査を行った。

【問】学校を統合した場合のスクールバスの導入について。

【答】学校から半径3km以上を目安にしている。東条地域で3台、社地域で6台が必要となり、約6600万円が必要となるが、国からの補助金・交付税措置等もある。現在、市では公共交通網形成計画を検討中であり、路線バスで対応するケースもある。

【問】合併時の「新都市建設計画」では地域間バランスを考慮すると明記されている。今回、地域バランス重視からの転換がうたわれているが、問題はないのか。

【答】加東市全体としてバラ

ンスがどうあるべきかが重要と考える時期に来ている。

【問】東条地域小中一貫学校の建設予定地を「東条文化会館周辺」としているが、東条文化会館は含まれるのか。

【答】現段階では新たな運営方法の検討を打ち出している。東条文化会館は含まれないが、将来的にはその可能性もある。

【問】コスミックホールに大規模な修繕が必要になった場合、どのように対応するのか。

【答】雨漏り等への対応は行っていくが、本体の大規模な改修が必要となった場合は廃止も含めて検討する。

【問】文化会館の土地を含みずに小学校の統合をすることとは、面的に可能なのか。

【答】周辺の民有地の買収ができれば、東条東小学校と同じくらいの面積が確保できると考えている。

【問】嬉野公民研修所跡地に幼稚園と保育園を統合した認定こども園を建設するとすると、200人規模になつてしまう。そのような保育園はあるのか。

【答】小野市にはある。

【問】やしろ国際学習塾にある図書・情報センターは、

東条地域での図書館建設時に廃止予定であったが、東条文化会館が当面残ることにより新図書館の建設がなくなった。図書・情報センターはどうするのか。蔵書の置き場所は。

【答】廃止時期等は改めて検討したい。蔵書については、旧滝野庁舎1階に置く場所を確保している。

【問】体育館はスポーツ少年団等の利用があるが、体育館を廃止しても残る体育館で需要をまかなえるのか。

【答】現状を把握しており、十分対応できると判断している。

【問】とどろき荘については、平成30年度から指定管理者にかなり責任をもって対応してもらいう形になっているのに、改めて「収支が改善しなければ廃止」とまで書く必要はあるのか。

【答】指定管理者に経営意識をもってもらうためにも、書き込んでおくことは必要だと考えている。

【問】公民館をとどろき荘2階に移すことになっているが、仮にとどろき荘を廃止する場合はどうなるのか。

【答】1階の温泉部分を廃止して公民館として存続して

いくことになる。

賛成討論

この計画については、3月に策定予定であったところ、市民説明会での意見などを踏まえ当局で熟慮されることになった。

この間、小中一貫教育についての研究会を立ち上げて地域住民や教員などとともに研究する体制がつけられ、今後さらに地域協議会という形で丁寧な議論を進めることも確認された。

コスミックホールについても新たな運営方法を探る等、一定の配慮もみられたことも評価できると考え、賛成する。

(藤尾) 当初の案に比較して住民の理解を得られるような修正も加えられたと判断し賛成する。

(高瀬) 賛成多数で可決

↓本会議の採決結果はP4



加東伝の助



子どもたちの未来のために…！

地域公共交通 委員会はこう考える

総務文教常任委員会

付託議案審査

職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正

【趣旨】医療職の年末年始の出勤に対し、特別手当を支給するもの。

【問】初日の説明では、周辺の公立病院でも実施されているという事だが、金額は変わらないのか。

【答】基本的には加西病院に近い形で1時間千円とした。北播磨総合医療センター、西脇病院は、それよりも優遇されている。

【問】正月の医療業務は毎年どういう形で推移しているか。

【答】基本的には12月29日から1月3日の6日間だが、3日間は救急業務の当番の依頼がある。

【問】加東市民病院として医師と看護師は最低限何人必要なのか。

【答】常勤医師が10人なのであと3〜4人確保したい。

全会一致で可決

所管事務調査

◇加東ケーブルビジョンのe o光への移行スケジュールと加入者の動向について

①インターネットは平成28年3月末終了。基本サービスについては平成29年3月末終了。

②伝送路機器撤去作業は平成29年4月開始。

③加入者の動向

(平成27年7月末)
・移行者 5323件
・新規加入 700件
・全体 6023件

◇公の施設の指定管理の更新について

加東市文化会館施設の指定期間が平成28年3月までのため更新する。



やしろ国際学習塾



コスミックホール



滝野文化会館

【問】やしろ国際学習塾、滝野文化会館の非公募の理由は上がっているが、コスミックホールが公募になっている理由は。

【答】NPO法人等の新たな運営を考えるため、現段階では公募としている。

【問】公募しても応募がない場合はどうするのか。

【答】なければ施設管理条例に基づき1年間は直営で見ざるを得ない。

【問】コスミックホールの指定管理料はどのぐらいを考えているのか。

【答】約1500万円と考えている。

◇小中一貫校と地域公共交通(スクールバス)について

【問】平成28年度から平成33年度の開校時に取り組むとの事だがどの地域からか。

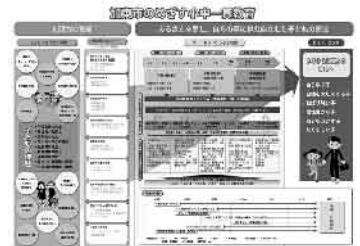
【答】まず東条地域で、地域推進協議会と協議していく。

【問】課題はいかなる時も出てくる。課題に立ち向かう為にも指導者の熱意、リーダーシップが必要と考えるが。

【答】9年間連続することで子供たちの学びや生活は保障できると考えている。先生にも今以上の教育効果が出せる環境が生まれると思っている。

【問】小中一貫校をするに当たって、スクールバス等交通手段は考えているのか。

【答】公共交通施策で市民の満足度を考え、対応していきたい。



加東市のめざす小中一貫教育パンフレット

◇総務文教常任委員会より、市に対し公共交通の提言書を提出。

①住民のニーズの把握(地域別、年代別アンケートの実施)

②地域活性化(観光施設活性化を含む)のため公共交通の実施

③学校統合(小中一貫校含む)に対するスクールバスの運行実施

④必要とされる地域(交通空白地域・中山間地域・過疎地域)に対する施策の実施

⑤関係各部の積極的な公共交通再編や具体的な方向性を示すべき。



加東市の公共交通を考える市民ワークショップ



みんなの便利な「足」にするよ!

子どもの急な病気にも対応 (病児・病後児保育)

産業厚生常任委員会

付託議案審査

病児病後児保育施設条例制定

【制定理由】児童の健全な育成と、保護者の子育てと就労等の両立を支援するために開設する病児病後児保育施設について、その設置及び運営に関し必要事項を定める条例を制定する。

【問】規則(案)で「利用定員は4人とする。ただし市長が必要と認める時はこの限りではない」とは、何を想定しているのか。

【答】部屋の大きさは4名以上の受け入れが可能である。3部屋あり、2部屋は感染症用・隔離用で、あと1部屋で回復時に至る子供数名の受け入れが可能である。

【問】保育はどういう体制で運営するのか。

【答】病児保育は委託を考えている。前日の予約人数により保育士の人数を決めて保育にあたる。

全会一致で可決



建設中の病児病後児保育施設

請願審査

「ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度の創設と身体障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準の緩和を求める意見書」の提出を求める請願(請願第27—4号)

【請願趣旨】抗ウイルス療法の適用外のウイルス性肝硬変・肝がんの医療行為は助成の対象となっていない。衆参両議員並びに政府に対する意見書の提出・意見書の採択を請願する。

【問】「医療費助成を含む生活支援について何ら具体的な措置を講じていない」とは、生活支援に対して別口

の支援も講じてほしいという請願か。

【答】一度には無理でも、医療費だけでも助成してほしい。

【問】国が実施している現行の一定の抗ウイルス療法の医療費助成に該当しない肝硬変・肝がんに対して助成対象外である要因は。

【答】他の疾病に対する対策とのバランスがとれないというところで、助成はなかなか前に進まない。

賛成多数で採択

所管事務調査

観光施設(闘竜灘公衆トイレ)改修計画について

身体障がい者や高齢者に配慮した改修は、補修費用(概算1510万円)に対し撤去・新設工事費用(概算1480万円)のほうが安価で耐用年数も長くなることから、撤去して新設する。

【問】当初から新設も含めた検討はしなかったのか。

【答】当初計画は、和式を洋式に更新する予定だった。

【問】当初計画は、和式を洋式に更新する予定だった。バリアフリーを視野に入れた修理をすべきと考えた。

【問】現行より建屋の長さが

3・6m程長くなるが駐車場側に伸ばすのか。

【答】駐車場の区画を二つ潰すことになる。実施設計の中で一つで対応できないか検討したい。

天神東掲鹿谷土地区画整理事業について

面的整備が今年度末に完了することを受け、要綱に基づき公園及び公共広場の総面積が3%を超える面積について5200万円の助成を行う。

一般保留地の売却率は約54%に留まり、事業資金の借入先であるJAMのりに、返済期限延伸に応じてもらえず、事業資金の返済に苦慮されている。そのため今後、市が無利子貸付制度を設けて1億2千万円を融資し、事業の円滑な実施を図る予定である。

天神東掲鹿谷土地区画整理組合から、助成並びに無利子貸付について、市長あてに嘆願書が提出されている。

【問】当初計画では公園の5200万円の支払を含めな

い、道路なども公共施設管理者負担金を決めた。何

故この話が出てくるのか。

【答】当初保留地をm当たり4万6千円で処分すること、収支の見込みが立っていた。現在地価が3万円弱に下落しており、助成を行うことで保留地の単価を下げ事業を遂行し、優良な市街地の整備につなげたい。

【問】市でも過去に区画整理をやっているが、このように後追いで補助金で支援することはあつたか。

【答】過去に天神西と多井田の区画整理で同様の助成金が出ていたという経緯は確認している。

【問】無利子の貸付けは実質的には補助と同じである。無利子と判断した理由は。

【答】国の無利子貸付制度が存在するが、事業の途中から利用することは困難であり、この制度に準じた。

【問】今回の話は区画整理組合からの要望等があつたのか。

【答】要望があり、要綱的なものを市が助言し、貸付制度の提案もしながら組合と一緒にやっていくこととしている。



公衆トイレはきれいな方がイイネ!

所管事務調査

平成26年度加東市病院事業業務状況説明書の修正について

平成26年度決算審査において除却した固定資産の取り扱いについて修正すべき旨の指摘があったため、修正する。



社福祉センター・ラポートやしろ

公の施設の指定管理（社会福祉課所管）の更新について

いずれも平成27年度で指定管理期間満了となるため、新たな管理方針をとる。

○社福祉センター・ラポートやしろ↓これまでと同様で公募

○はびねす滝野・東条デイサービス↓用途廃止、社協へ貸付け

○とどろき荘↓現行の指定管理期間を2年延長。平成30年度から新たな指定管理者による運営。

【問】社協に貸付けとは、現行は管理料を払って管理して頂いているが、今後は社協が市に賃料を支払うのか。

【答】今のところは無償貸付けを考えている。維持管理する建物自体が大きいので、市も負担をという要望も出ている。

【問】とどろき荘の温泉業務とデイサービスを切り離し、分離して公募するのか。

【答】デイサービスの切り離しは平成29年度に工事を実施し、分離した形で考えている。

公の施設の指定管理（商工観光課所管）の更新について

○アクア東条・交流保養館ぽかぽ・滝野産業展示館↓公募
○やしろ鴨川の郷・道の駅とうじょう↓非公募

【問】昨年、やしろ鴨川の郷の宿泊施設を分けて公募をと聞いたが、民間の活力・企業努力が必要ではないか。

【答】敷地を分割して公募・非公募という考えもあるが、借地の敷地利用権が担保できないので公募するには公平さに欠ける。

【問】運営費の考え方で、利用料は管理者の収入とするのか。

【答】これまでは指定管理料を支払い、施設使用料は市の収入としていたが、次からは施設利用料は、指定管理者が自ら収入として運営費にする方針に改める。



アクア東条

議会諮問第2号「平成27年2・4・6月請求の下水道使用料納入通知に対する異議申立てについて」に対する答申

裁判は、本年5月～8月に3回の口頭弁論が開かれた。4回目は10月22日にある。お互いの主張や反論など文書でのやり取りを行っている状況で、これまでと同様に市の主張が認められるよう、市の顧問弁護士と調整を進めている。

平成27年度 政務調査

8月20・21日と愛知県豊田市と滋賀県彦根市で政務調査を行う。

◆豊田市空き家バンク制度について

○対象地域を中山間地域（過疎地域）に限定。
○市が事務局となり、空き家提供者・利用希望者・地域を結びつける仕組み。
○条例は平成22年度より運用。実績は103世帯246名の移住者があり、58世帯が改修補助金（80%上限100万円）を利用。
○登録物件の状況は年間10件前後で推移。
○地域に定住促進員（ボランティア）を配置し、受け入れ態勢は促進員の協力が大きい。
※他にスマイルしようかい制度も整備



◆豊田市エコフルタウンについて



○毎日の生活でCO2を減らそうとプロジェクトチームを結成し、10年後の住環境を提案する。社会全体でエネルギーの最適化を目指す取り組みと、この活動を世界に発信しようとしているのは豊田市ならではの活動。
○エコフルタウンに水素ステーションが設置され、低炭素交通システムの構築に取り組みされているが、ステーション自体が少ないため普及までには時間が必要。

◆彦根市地域公共交通について

○1市4町（彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町）の湖東圏域定住自立圏形成協定により、圏域内の公共交通の共通課題の解決

に向けて調査研究、実証運行等を連携して取り組んでいる。
○予約型路線タクシー「愛のりタクシー」を運行している。路線内では利用者負担450円（指定エリアを超える場合は900円）。メーター運賃と利用者負担との差額を行政が負担している。

◆小中一貫校について

○鳥居本学園は平成27年度から分離型の小中一貫校としたが、現在一体型の方向へ市に要望している。
○通学校区を彦根市内全域とした。
○英語特例校とし、ビデオによるモジュール学習を中心とし、地域・保護者には好評である。
○今年度からの開校であるが9年を通じての学習に期待がかかる。



行政ももっと企業感覚を取り入れるべき



道路交通法の改正による
市の対応について

石井 雅彦

問 県が10月1日から施行の自転車保険加入義務化の条例を作ったが、当市も子供達の安全を守るために制定すべきと思うが。

答 市としては、県条例に基づき連携に努めるべきで、条例制定は今のところ考えていない。

問 取締り強化の為、各学校でも周知徹底させる必要があるが。

答 毎年1学期に市内の小中学校で警察署・協会等と連携して交通安全教室を開催している。今年は自転車と歩行者の教室を一緒に開催するなど、各校で工夫して実施した。

問 自転車の安全適正利用へ、今後の施策はあるのか。

答 自転車シミュレーターを活用した実践的な取り組みを強化するとともに、あらゆる機会を捉えて自転車の安全運転啓発に努めていく。

その他の質問

■ 青少年の防犯対策について

■ 手話言語条例制定後の市の取り組みについて



加東市の生活保護等の
福祉施策について

藤浦 巧

問 親の年金のみで生活していた64才の息子が体の不自由な91歳の母親を介護していたが、息子も生活費に困窮し、体が悪いのに医者にもかかれず自宅で急死した。母親もそれに気付いたが人を呼ぶこともできず、寒さが厳しい日が続き凍死するという痛ましい事件を報道番組で見た。

加東市においても、このような問題が発生しているのか。また、このような方々を事前に救済できる体制があるのか。

答 不測の事態に対応するため、国の進める生活困窮者自立支援制度に今年の4月から取り組み、生活保護に至らぬよう、新たに国の必須2事業（自立相談事業等）及び任意1事業（一時生活支援事業）を実施している。

その他の質問

■ 少子化対策、子育て支援のための医療費について



若い世代の視点を
加東市のまちづくりに
もっと生かしてはどうか

小紫 泰良

問 まちづくりには、客観的かつ冷静にその土地の良い所、悪い所足りないもの等を見つけることや判断することができるとともに行動力を持った人が必要であり、新しい発想、切り口により、より良いまちづくりができる。

県下の事例で、三田市と丹波市では関西学院大学の学生、養父市では兵庫県立大学の学生がまちづくりに参画している。加東市には多くの兵庫教育大学が住んでいる。市外で生まれ育った視点と若者の視点で加東市のまちづくりに参画していただき、加東市に足りないもの、直すべきもの、受け入れるものを提案していただき、まちづくりに生かしてはどうか。

答 兵庫教育大学とは、学生と地域。学生と小中学校。大学と市。大学職員と市職員などさまざまな形で連携を図ってきた。平成24年には兵庫教育大学の学生をはじめ、市内の中学生からまちづくりについての多くの意見をもらい、早急に取り組む事項として防犯灯の設置強化などにより、通学路の安全対策をすすめた。今後は地方創生の観点からこうした連携を長く継続させる仕組みづくりについて検討を進める。

その他の質問

■ 加東市制10周年記念事業について





災害時要援護者支援体制の 課題と対策について

小川 忠市

問 災害時要援護者支援において要援護者の台帳登録名簿の公開は個人情報保護の観点から大きな課題となっていたがその後の状況は。

答 要援護者台帳の登録者名簿は本人の同意無しでの公開はできない。ただ、非常時には法的にも全ての方の情報の公開はできるが、非常時になってから新たな要援護者の存在を示すようでは万全な安心に危惧するところである。

対応策として、同意の無い方等には引き続き理解を求めるとともに地域での見守り体制を地区や地域の皆様にお願ひしていきたい。

買い物困窮者対策について

問 超高齢化社会における「買い物困窮者」への市として支援と対応策は。

答 今年4月に宅配サービス業者等の情報誌「買い物お助け手帳」を配布した。また、商工会等各種団体からなる「買い物支援調整会」を立ち上げた。今後はこの「買い物支援調整会」を介して保険事業計画上の協議体で吸収発展させ、買い物困窮者を地域の課題として地域全体で支え合える体制で対応できればと考えている。

その他の質問

■ 高齢者虐待防止への取り組みについて



「災害時要援護者支援プラン」と「買い物お助け帳」冊子



鳥獣被害 防止対策について

高瀬 俊介

問 鳥獣被害防止について市はどのような対策をとっているか。

答 猟友会加東支部と委託契約し、狩猟免許保持者である猟友会とともに、市・地域住民の連携により捕獲・防除を行っている。また、防護柵資材の補助基準内容の拡充を検討する。

問 猟友会加東支部との連携内容及び会員（狩猟者）の減少・高齢化等による鳥獣捕獲の担い手減少対策は。

答 猟友会加東支部と委託契約し、捕獲班が有害鳥獣捕獲活動を実施している。対策として委託契約内容の見直しも検討している。

問 加東市東条湖鳥獣保護区域の指定が平成27年10月31日に更新期日となっているが、解除する考えはあるのかどうか。

答 現行のままです。ただし、状況の変化等により、地域住民の同意のもと、期間中であっても変更申請が可能である。



金網柵設置風景



防犯カメラ設置補助の 拡大について

大畑 一千代

問 昨年度、市は40基を設置し犯罪抑止と被疑者特定に役立ったとのこと。安全安心のまちづくり活動補助要綱の補助対象者を、「地域等」から個人や事業所へ拡大しては。

答 防犯カメラの設置が必要な公共性の高い箇所には市が設置する。地域団体の自主的な防犯カメラの設置には県とともに支援していくが、保護者や周りの大人が役割を自覚して、子どもたちへの見守りや指導を行える環境づくりが重要。

問 地域からの要望があったため本年度補助要綱を策定したのではないのか。

答 要望があつて防犯カメラも含めた要綱としたが、現時点では相談はあつたが申請はない。

問 ないのであれば補助内容等見直すべき。

答 現時点では見直す考えはない。

「田んぼダム」への取組について

問 県は堰板^{せきいた}を無料配布しているが、不足分は市が購入し内水被害対策に取り組むべきでは。

答 希望が多くて県の配布を待てない状況になれば、検討する。

その他の質問

■ 市有（遊休）財産の活用について



防犯カメラ



マイナンバー導入についての 対応について

磯貝 邦夫

問 マイナンバー導入についての対応は。

答 広報・ケーブルテレビ・情報ボックス・ホームページ等を通じて市民に情報が行きわたるようにつとめていく。

問 社西部線の進捗状況は。

答 平成28年度には境界の確定と幅杭^{はくぐい}の設置を実施し、平成31年度の完成を目指している。

問 特別指定区域制度の新規入居者区域について。

答 あくまで地域が主体となり、まちづくり協議会を立ち上げた上で進めていただくことになるが、市も地域と協力し、制度導入を目指していく。

あなたにも、マイナンバー。
はじまります。



平成27年
10月から
マイナンバーを
一人ひとりに
お届けします！



定住促進について

藤尾 潔

問 昨年12月定例議会で提言した空き家バンク制度は、小野市などでも導入され売約に結びついている事例もある。加東市ではなぜ積極的に取り組まないのか。

答 市街地の分譲住宅等が売れている状況で、空き家に対する需要があるのか、とも考える。また、地域の集落の住民が、新規の移住者を求めているのかという問題もある。導入はすでに行っているが調整すべき課題が多い。

学校におけるカリキュラム管理について

問 近隣の小野市では授業時間数確保のため夏季休業の短縮を行っている。加東市においては授業時間数の確保は行われているのか。また、授業進度についても遅れがないか。シラバス（授業計画）を事前に公表している市もある。

答 各学校で行事等の調整をしながら授業時間数の確保をしている。

教科の進度については、事前に計画を立てて行っており、週ごとに教育委員会に報告されている。授業進度に各学級・学校で大幅な違いはない。シラバスの公開については、あり方も含め検討する。

空家バンク登録物件一覧

No.	内訳	住所	面積	建物	築年	利用状況
0101	小野市 小野町	〒426-310	約1,000㎡	木造	1980年	空き家
0102	小野市 小野町	〒426-310	約1,000㎡	木造	1980年	空き家
0103	小野市 小野町	〒426-310	約1,000㎡	木造	1980年	空き家
0104	小野市 小野町	〒426-310	約1,000㎡	木造	1980年	空き家
0105	小野市 小野町	〒426-310	約1,000㎡	木造	1980年	空き家
0106	小野市 小野町	〒426-310	約1,000㎡	木造	1980年	空き家
0107	小野市 小野町	〒426-310	約1,000㎡	木造	1980年	空き家
0108	小野市 小野町	〒426-310	約1,000㎡	木造	1980年	空き家
0109	小野市 小野町	〒426-310	約1,000㎡	木造	1980年	空き家
0110	小野市 小野町	〒426-310	約1,000㎡	木造	1980年	空き家

売却が進む小野市の空き家バンク

会議は平日の昼間でしょ。
仕事でとられないし...



いーえ、

議会で中継は、

ご自宅で

ご覧いただけま



見るだけじゃない
探せる
調べる

加東市議会 会議録 検索システム

特定の議員の発言の内容をまとめて見たい。あの議題はどういう経緯で議決されたのか？
またたく間に検索できる「加東市議会会議録検索システム」をご活用下さい。（動画ではなく、文字データになります。）

「加東市議会」

で検索！



<http://www.city.kato.lg.jp>



市内の議員おすすめ
スポット等を紹介する「加東のええところ」どうぞ、
お楽しみください！

依藤太郎左衛門と
冷泉為勝の歴史探訪

依藤太郎左衛門と
冷泉為勝の歴史探訪

依藤氏は小沢城（加東市小沢）、小田城（小野市小田）を本拠とし、東条川流域を支配する土豪で、一時は三木の別所氏と肩を並べる力を持っていた。冷泉氏は三木の北の郷・細川の領主で、依藤氏はこのとき冷泉氏の家老でした。三木合戦のはじめ、天正6年（1578年）4月1日、別所氏の誘いを断り織田方についた冷泉氏は、別所氏の奇襲を受けました。当主の冷泉為純は討死し、嫡子の冷泉為勝（当時6歳）と家老の依藤太郎左衛門は北（丹波市方面）へ逃げました。しかし、依藤野の手前で別所長治の兵に追いつかれ、逃れることができないと悟り自刃しました。



県道社東条線を社から小沢方面に嬉野台地を過ぎようとする左急カーブの手前、右奥に冷泉為勝と依藤太郎左衛門の墓があります。その少し



よりふじたらうざえもん れいぜいためかつ
依藤太郎左衛門と冷泉為勝の墓

先右に冷泉為勝と依藤太郎左衛門自刃の碑があります。
嬉野台地の東の二帯は依藤野とよばれていますが、これは15〜16世紀にかけて東条谷を支配していた土豪の依藤太郎左衛門がこの地で討死したことから付いた地名だといわれています。今回の取材を通して、およそ430年前の戦で地名に名を残すほどの依藤太郎左衛門が偉大な人物であったことに感銘を受けました。（長谷川幹雄）

議会の傍聴に お越しく下さい

加東市役所5階に議場があります。

12月定例会の予定	12月1日（火）	9時30分	議案審議
	12月18日（金）	9時30分	一般質問
	12月25日（金）	9時30分	議案審議

○8月臨時会・9月定例会は延べ18人の傍聴がありました。

○加東ケーブルビジョン（121ch）及び加東市議会HPで生放送もいたしますのでご覧ください。（録画可能）
ホームページ <http://www.city.kato.lg.jp> 電子メール gikai@city.kato.lg.jp

編集後記

昨年の市議会議員選挙から1年、この7名で議会だよりの編集をさせていただきました。次号からは編集委員が変わりますので今回のメンバーでの編集はこれで最終になります。御愛読いただきありがとうございます。

今回は、公共施設の適正化に関する問題で議会でも多くの議論が闘わされました。市民のみなさんからも多くのご意見をお聞かせいただきました。各議員、いろいろと考えながら今回の議決を行いました。その様子を感じていただければ幸いです。

少し話は変わりますが、運動会での団体操に関する報道を目にする機会が増えました。安全性の観点から中止すべきだという意見。また、子供たちがチャレンジすることも重要であるという意見。賛否両論ありますが、「どちらかが正解で、どちらかが間違っている」というような単純な話でもなく、個人的にはどちらの言い分も一定の筋は通っているように思えます。そんな中でも、学校では一定の結論を出していかねばなりません。

そこが難しいところであると思います。

議会広報委員会

委員長	山本 通廣
副委員長	藤浦 巧
委員	井上 茂和
	藤尾 潔
	磯貝 邦夫
	岸本真知子
	長谷川幹雄

（藤尾 潔）